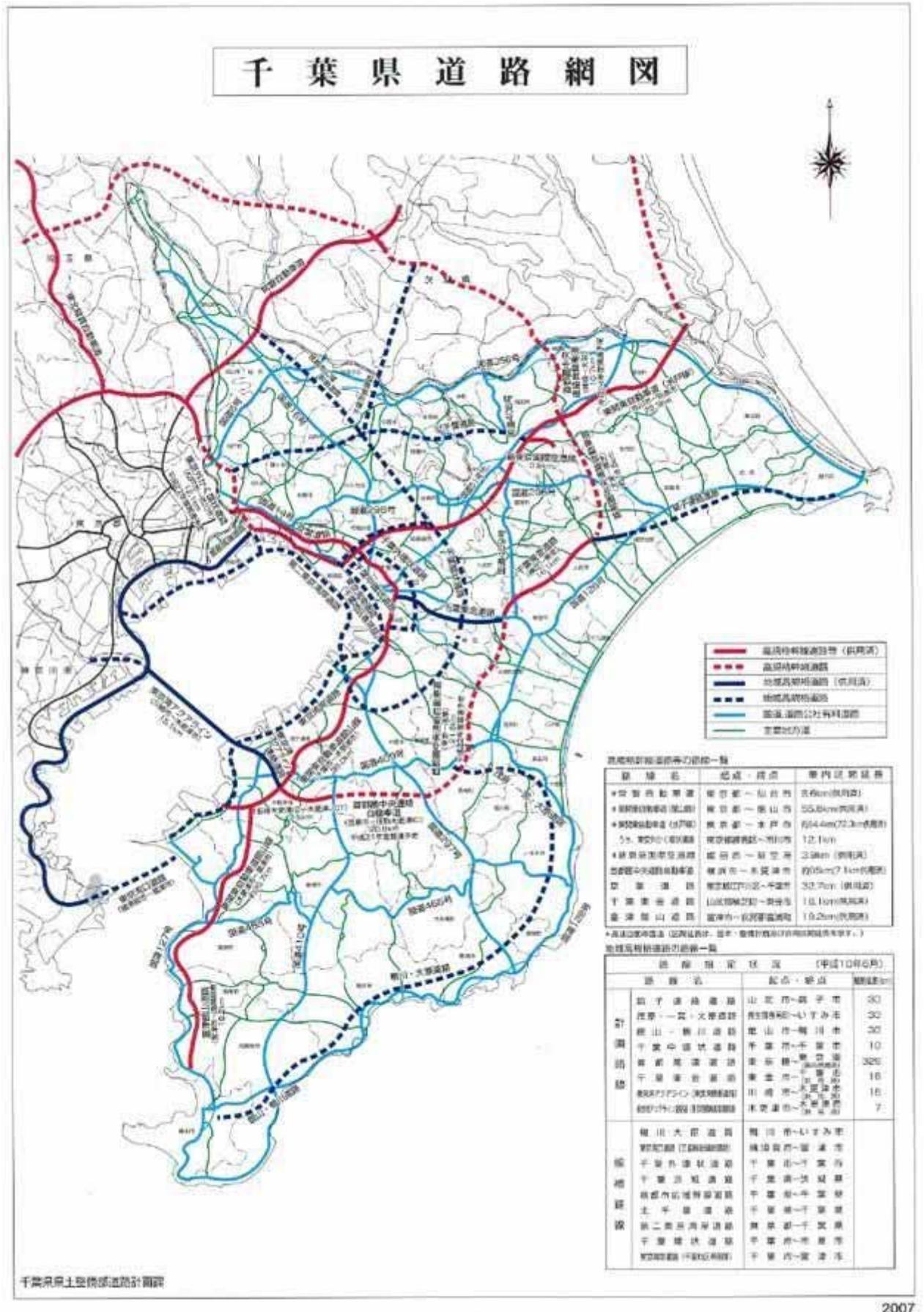


(4) 背後道路網の現況と計画



## 1 - 2 背後地域の経済社会の現況

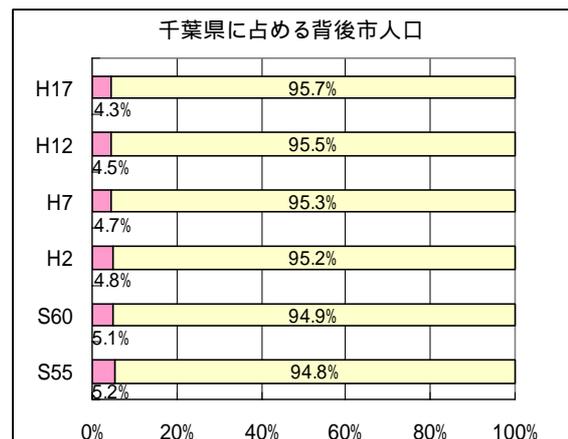
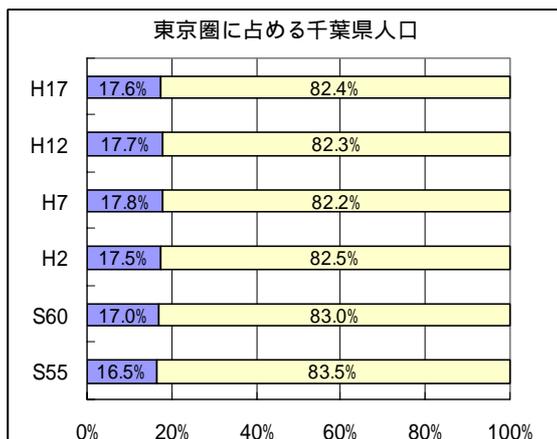
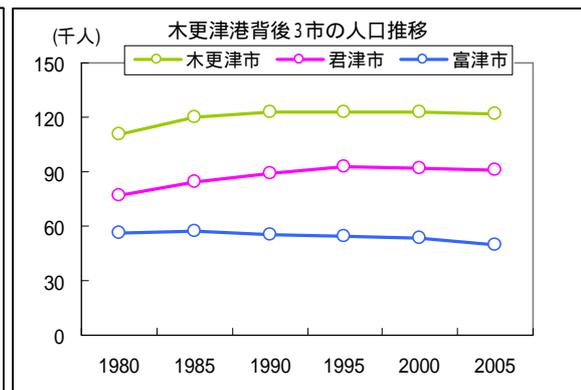
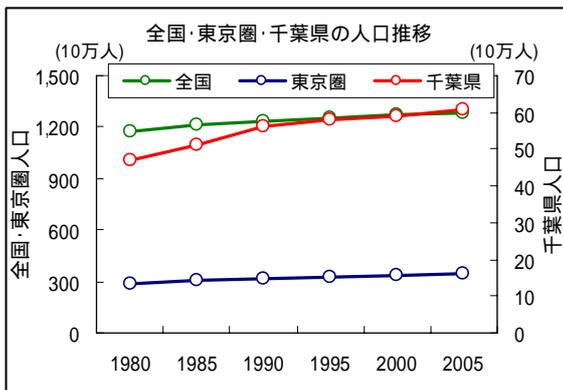
### (1) 人口及び就業構造

木更津港の臨海部は、木更津市、君津市、富津市の3市にまたがっている。  
 平成17年までの国勢調査によると、全国及び東京圏、千葉県の人口は増加しているが、背後市の人口は平成7年をピークに減少している。  
 背後市においては、人口減少傾向にあることから、千葉県における背後市人口の割合は近年低くなっており、昭和60年には5%程度であったが、現在は4%程度となっている。  
 千葉県の人口伸び率は、東京圏と比べると年平均0.1%程度低いが、千葉県の東京圏に占める人口割合としては約18%程度と平成2年から平成17年まであまり変動していない。

背後市及び千葉県・東京圏の人口の推移

	1980	1985	1990	1995	2000	2005	年平均伸び率(%)	
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H17/H12	H17/H7
全 国(千人)	117,060	121,049	123,611	125,570	126,919	127,757	0.13	0.17
東 京 圏(千人)	28,697	30,273	31,796	32,577	33,413	34,472	0.63	0.57
千葉県(千人)	4,735	5,148	5,555	5,798	5,926	6,056	0.43	0.44
東京圏シェア(%)	(16.5)	(17.0)	(17.5)	(17.8)	(17.7)	(17.6)		
背後市(人)	244,099	261,288	267,551	270,988	267,680	263,347	-0.33	-0.29
千葉県シェア(%)	(5.2)	(5.1)	(4.8)	(4.7)	(4.5)	(4.3)		
木更津市	110,711	120,201	123,433	123,499	122,766	122,208	-0.09	-0.11
君津市	77,286	84,310	89,242	93,216	92,074	90,978	-0.24	-0.24
富津市	56,102	56,777	54,876	54,273	52,840	50,161	-1.04	-0.78

注：東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
 資料：国勢調査



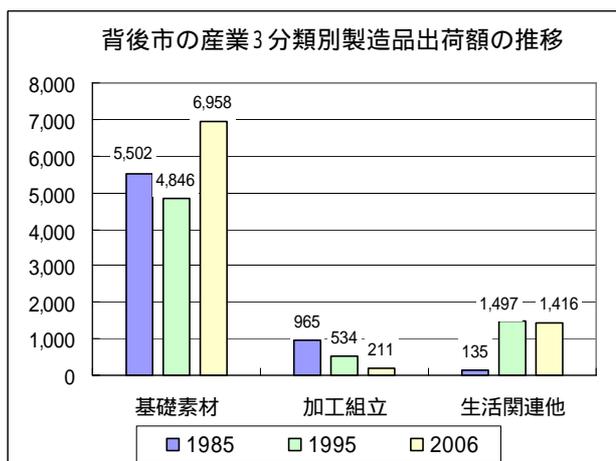
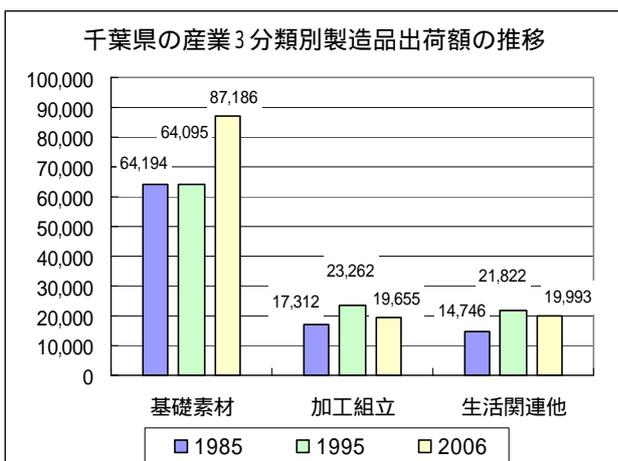
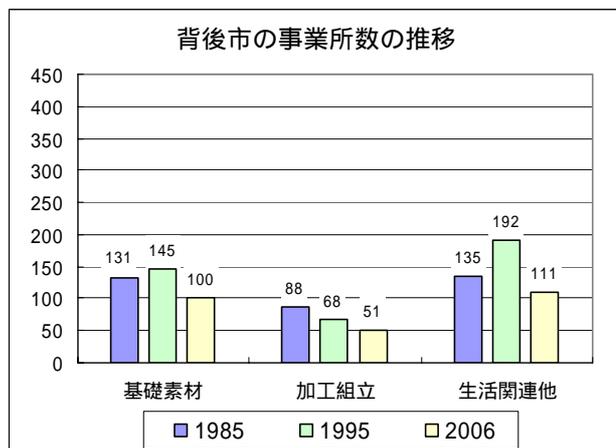
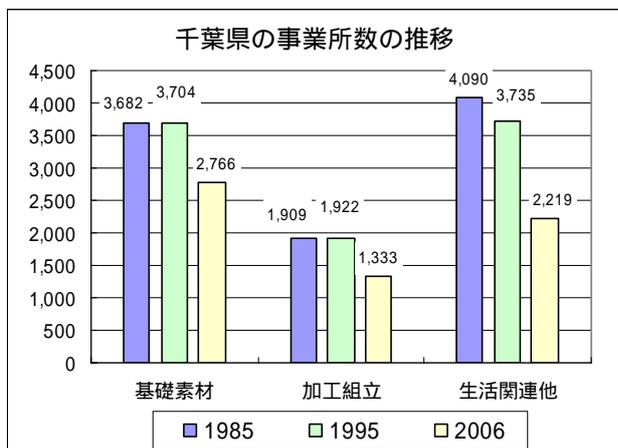
(2) 産業の動向

千葉県及び背後市の事業所数及び従業者数は減少しているが、製造品出荷額等は増加している。

製造品出荷額等を産業3分類別に比較すると、千葉県では、基礎素材型が約70%、加工組立型及び生活関連型がそれぞれ約15%であるが、背後市では、基礎素材型が80%強を占め、加工組立型が2%、生活関連型が約17%で、加工組立型の割合が非常に少ない。背後市の製造品出荷額等は、近年、基礎素材型が増加傾向にあり、ここ10年で1.4倍増加している。

業種別の製造品出荷額等をみると、背後市では鉄鋼業が特化しており、次いで、情報通信機械、石油・石炭製品が多く、他は少ない。千葉県では、化学工業、石油・石炭製品、鉄鋼業が多く、機械関連や食料品など幅広くなっている。

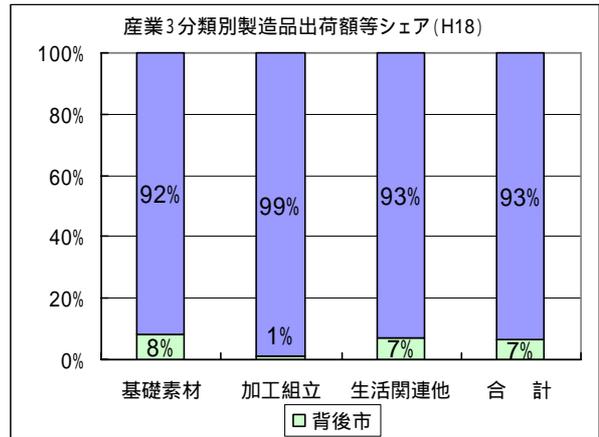
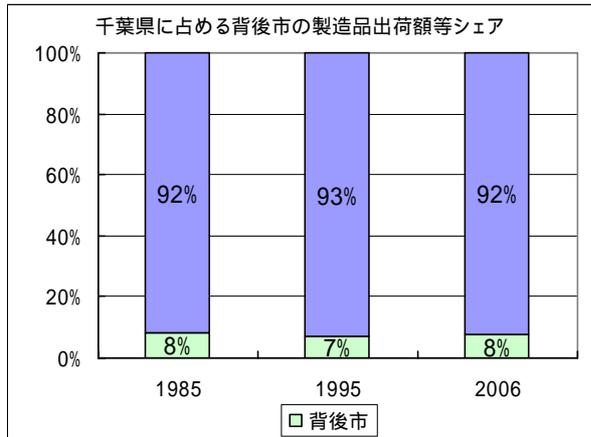
背後市及び千葉県の事業所数・製造品出荷額等の推移



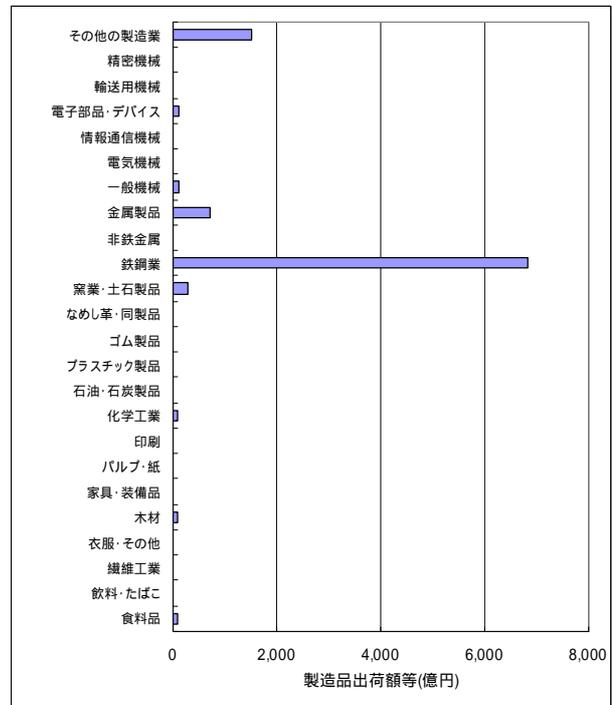
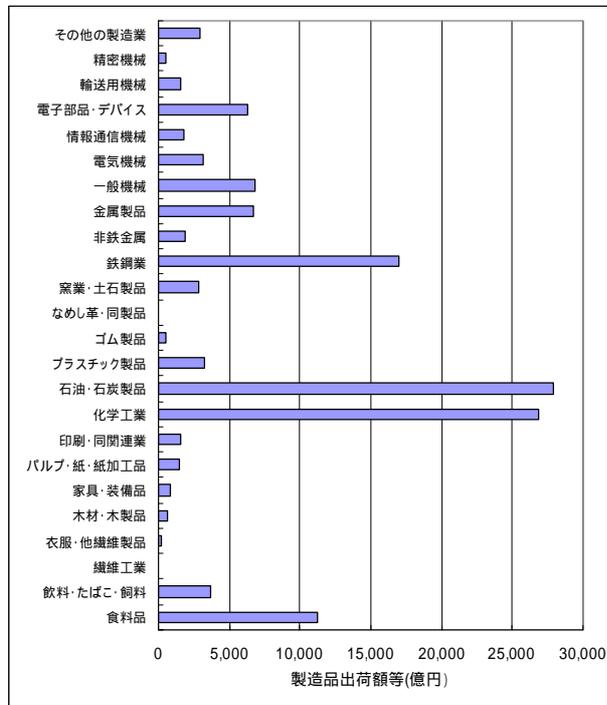
注．基礎素材型：木材木製品、パルプ・紙、化学工業、石油・石炭製品、プラスチック、ゴム製品、窯業・土石、鉄鋼業、非鉄金属、金属製品  
 加工組立型：一般機械、電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス、輸送用機械、精密機械  
 生活関連型：食料品、飲料・たばこ・飼料、繊維、衣服・その他の繊維、家具・装備品、出版・印刷、なめし革・同製品、その他

資料：工業統計表

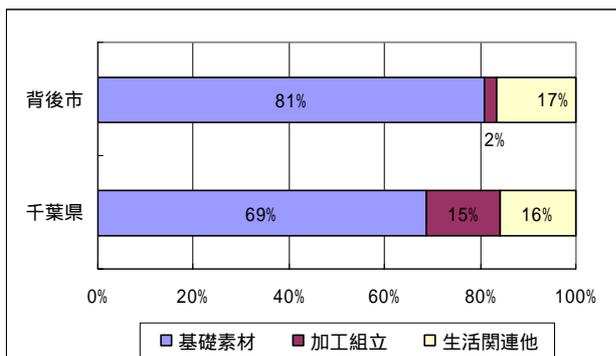
## 千葉県に占める背後市の製造品出荷額等のシェア



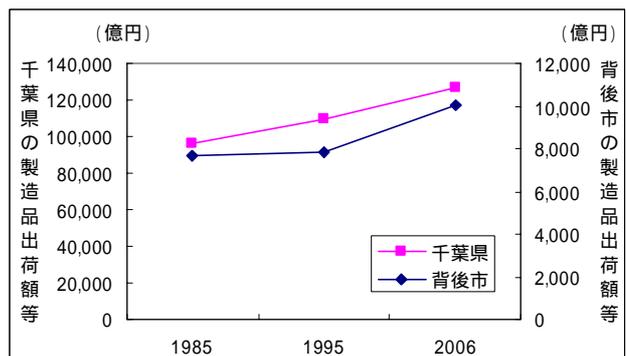
## 業種別の製造品出荷額等 (H18)



## 産業3分類別の製造品出荷額等シェア (H18)



## 製造品出荷額等の推移



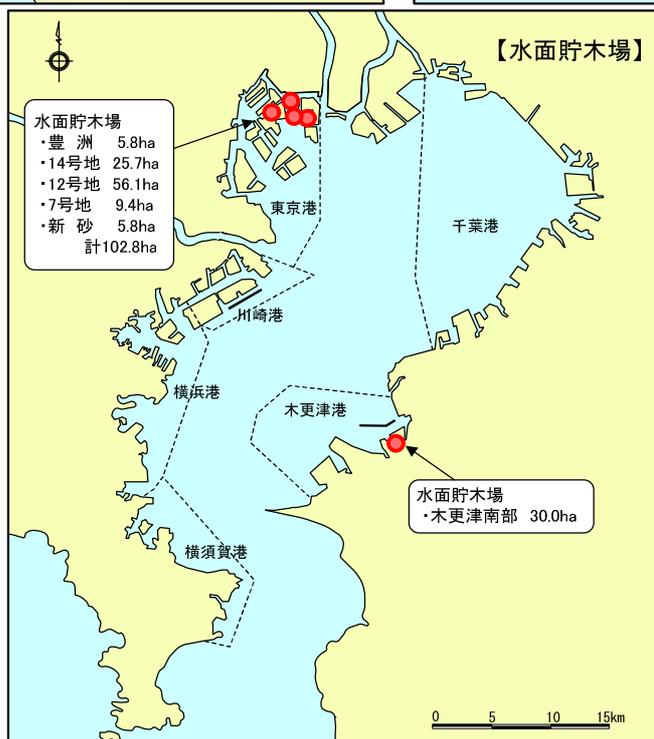
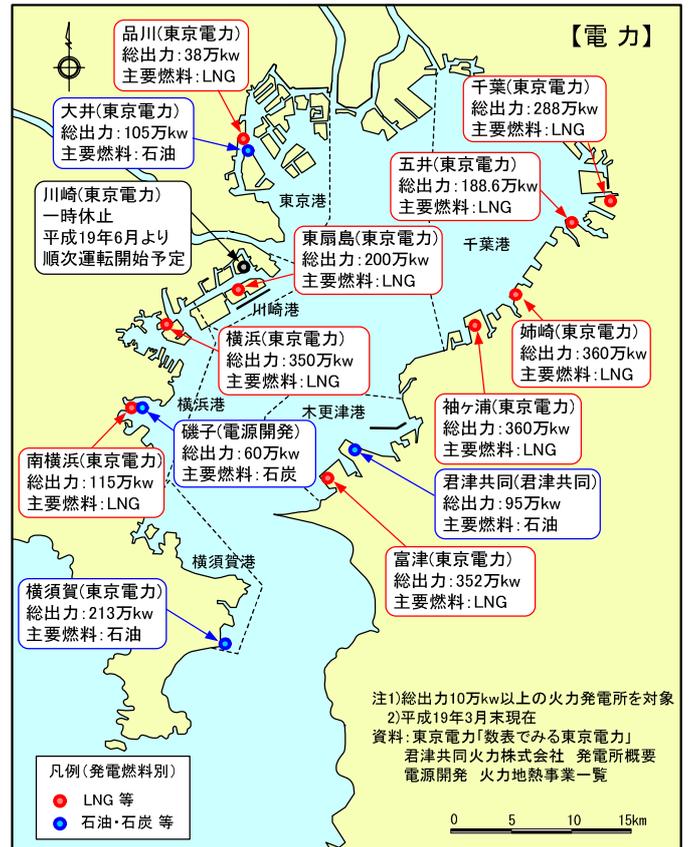
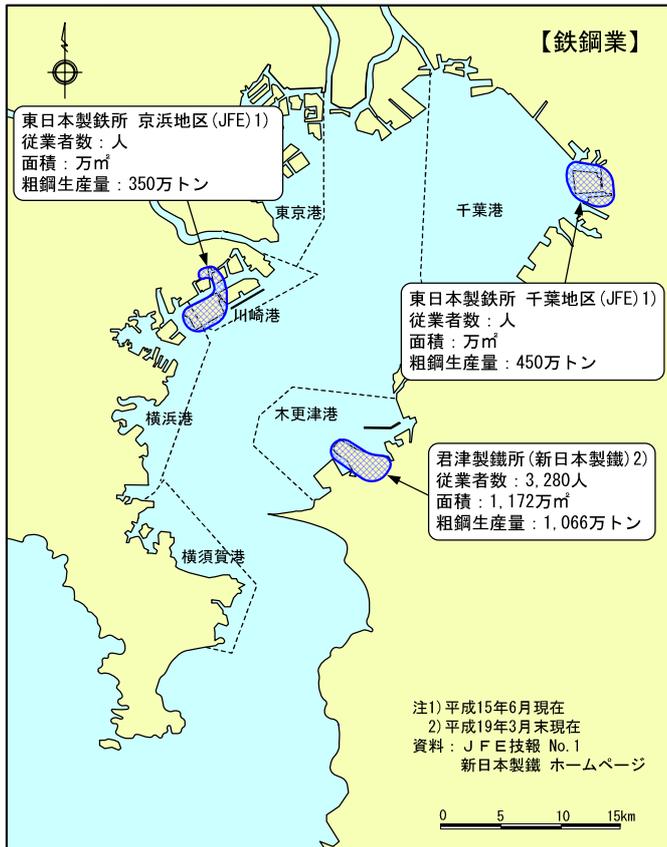
資料：工業統計表 平成18年

## 木更津港の主要産業の東京湾における位置

木更津港の背後地域の特徴として、東京湾内でも大規模な製鉄所が立地しており、関連企業等も多く立地している。

また、火力発電所が立地しており、首都圏への電力供給を行っている。

東京湾内には数少ないが水面貯木場があり、木材関連産業が立地している。現在、東京湾内にある水面貯木場は東京港に5施設、木更津港に1施設しかない。



(3) 背後企業立地状況

木更津港背後の木更津市、君津市、富津市には、6カ所の工業用地・工業団地が整備されており、富津地区とかずさアカデミアパークが分譲中となっている。

そのうち、臨海部に多く立地しており、木更津臨海部に103社、君津臨海部に14社、富津臨海部に13社が立地している。

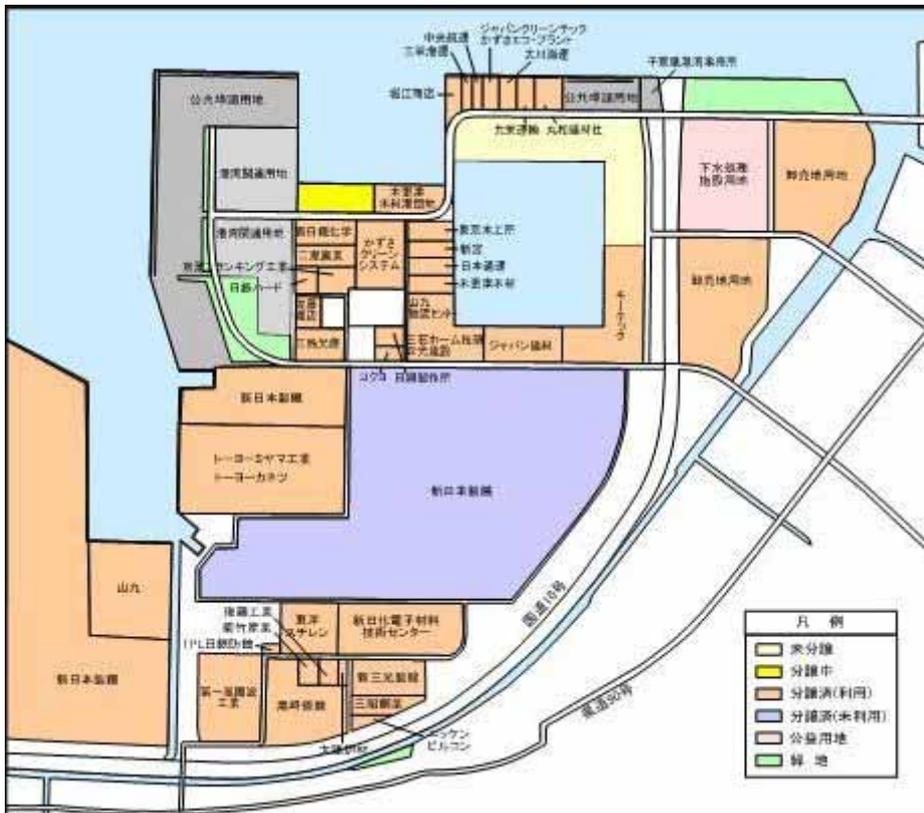
富津地区工業団地は、94%が売却済み(平成20年8月現在)で、今後工場立地が進む予定である

背後市の工業団地



工業団地名	所在地	区分	立地企業数
木更津準工業団地	木更津市	臨海	63
木更津南部地区		臨海	40
かずさアカデミアパーク		内陸	9
君津地区	君津市	臨海	14
君津工業団地		内陸	41
富津地区	富津市	臨海	13

資料: 千葉県工場名鑑(H15年版) 千葉県商工労働部産業振興課



木更津南部地区の企業立地状況

